

付録-5 詳細点検報告書作成要領

目次

	ページ
1. 詳細点検調書（その1）総合検査結果.....	1
2. 詳細点検調書（その2）構造一般図・位置記号・部材記号.....	3
3. 詳細点検調書（その3）現地状況写真.....	4
4. 詳細点検調書（その4）損傷図（構造物）.....	6
5. 詳細点検調書（その5）損傷図（路面・排水施設）.....	7
6. 詳細点検調書（その6）損傷図（附属物・その他）.....	8
7. 詳細点検調書（その7）損傷状況写真.....	9
8. 詳細点検調書（その8）損傷結果一覧（構造物・路面・排水）.....	12
9. 詳細点検調書（その9）損傷結果一覧（附属物・その他）.....	15
10. 詳細点検調書（その10）点検時現場処置記録.....	16
11. 詳細点検調書（その11）第三者被害予防措置点検記録.....	17
11. E判定会議調書（その12）E判定会議調書.....	18
12. 損傷数量一覧表（その13）損傷数量一覧表.....	19

詳細点検調書（その1） 総合検査結果

・本市DBに記載されている番号を付記すること。（施設管理台帳の番号は使用しない）

管理番号	UP-◎◎-●●	工営所	◆◆	路線名	市道 ●●●線	監督職員	●●●●	点検日	平成●●年△月◆日	
施設名称	●●アンダーパス	延長	186.7m	幅員	8.5m	建設年	●●年	交差対象物名称	JR▲▲▲線	
委託名	平成●●年度 道路施設点検調査等業務委託			業者名	●●コンサルタンツ(株)		点検者名	△△▲▲	所在地	起 ◎◎区◆◆町●-▲ 終 ◎◎区◆◆町●-▲

点検の結果から、下記に示す損傷があった。それぞれについて、考えられる原因を述べる。

【導流部A+交差部B+導流部C】

・まず、全体系の所見から表記すること

<Co構造物>

(原因)

- ・擁壁部Coに、規則性がなく乾燥収縮によるものと思われるひび割れが見られる。
- ・擁壁部Coに、ひび割れ箇所からの水の浸透によるものと思われる漏水・遊離石灰が見られる。
- ・擁壁部Coに、かぶり不足及びMoの劣化によるものと思われる剥離が見られる。
- ・擁壁天端および壁面に、Moの劣化によるものと思われるうきが見られる。
- ・目地部に経年劣化および施工後初期段階の沈下等によるものと思われる段差が見られる。

<路面>

- ・車道As舗装にひび割れが見られるがほぼ健全である。
- ・歩道LB舗装に初期段階の沈下等によるものと思われる路面の凹凸が見られる。

<附属物>

- ・防護柵に、車両衝突等外的要因によるものと思われる変形が見られる。

<排水施設>

- ・現在のところ損傷は見られない。

<その他>

【総評】

- ・●●アンダーパスは、柱列式（H鋼）擁壁と重力式擁壁、ブロック積み擁壁で構成されたアンダーパスである。
- ・Co表面には、樹脂Moが設置されておりCoのひび割れは、擁壁本体から発生したひび割れが、この樹脂Mo表面に現れたものである。
- ・表面の樹脂Mo表面に現れたものは、カビなどにより黒く変色しており、ひび割れ幅は、一見大きく見えるが、擁壁本体のひび割れは、0.1mm程度であり、さほど大きくは無い。また、浮きのほとんどは、この樹脂Moが擁壁本体から剥離したものであり、擁壁本体の浮きによるものではないため、損傷レベルとしては、低いものと判断される。
- ・Co詳細調査では、一部Co強度不足と中性化の残存年数が無い箇所も見られたが、一部分に見られたものである。
- ・北側に比べて、南側の擁壁の損傷が多く見られた。

左記を踏まえて、全体の評価をコメントすること。

・損傷が生じている部位、状況を詳細に表現すること。
・損傷が生じるメカニズムを可能な限り表現すること。

・全体系における、各部位ごとの所見を述べること。

最終的な施設全体の健全度評価を「Ⅰ～Ⅳ」で記載すること

施設としての健全度評価
Ⅱ

詳細点検総合結果

詳細点検調書（その1） 総合検査結果

管理番号	UP-◎◎-●●	工営所	◆◆	路線名	市道 ●●●線			監督職員	●●●●	点検日	平成●●年△月◆日	
施設名称	●●アンダーパス	延長	186.7m	幅員	8.5m	建設年	●●年	交差対象物名称	JR▲▲▲線	所在地	起	◎◎区◆◆町●-▲
委託名	平成●●年度 道路施設点検調査等業務委託			業者名	●●コンサルタンツ(株)			点検者名	△△▲▲		終	◎◎区◆◆町●-▲

詳細点検総合結果

点検の結果から、下記に示す損傷があった。それぞれについて、考えられる原因を述べる。

【導流部A】 ・1ページ目「全体系」の作成に続き、導流部A～C・・・と、各部ごとの調書作成を行う

<Co構造物>

(原因)

- ・擁壁部Coに、規則性がなく乾燥収縮によるものと思われるひび割れが見られる。
- ・擁壁部Coに、ひび割れ箇所からの水の浸透によるものと思われる漏水・遊離石灰が見られる。
- ・擁壁部Coに、かぶり不足及びモルタルの劣化によるものと思われる剥離が見られる。
- ・擁壁天端および壁面に、モルタルの劣化によるものと思われるうきが見られる。
- ・目地部に経年劣化および施工後初期段階の沈下等によるものと思われる段差が見られる。

<路面>

- ・車道アスファルト舗装にひび割れが見られるがほぼ健全である。
- ・歩道インターロッキング舗装に初期段階の沈下等によるものと思われる路面の凹凸が見られる。

<附属物>

- ・防護柵に、車両衝突等外的要因によるものと思われる変形が見られる。

<排水施設>

- ・現在のところ損傷は見られない。

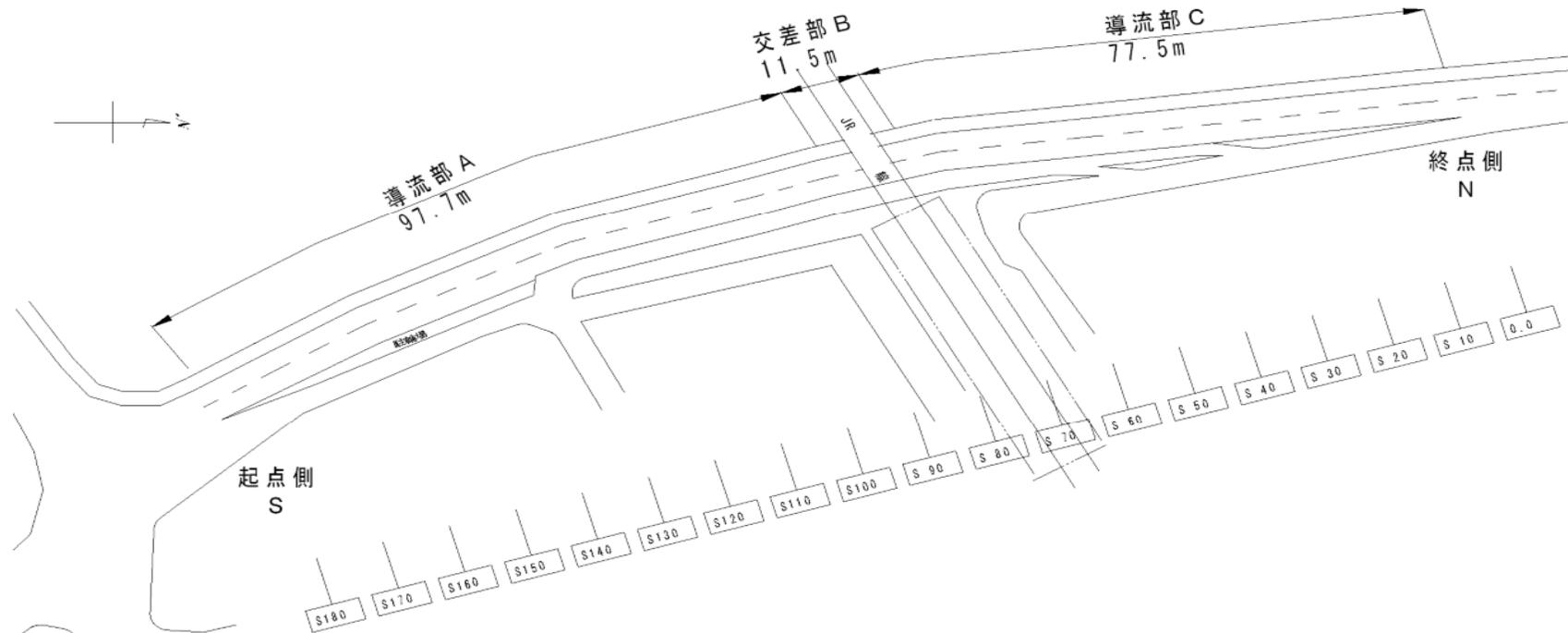
<その他>

・損傷の種類で、直接通行機能に障害がなくても、損傷判定上、部位部材ごとに「Ⅲ」（e-iiやe-iiiなど）判定が付されるものもあるため、損傷判定上、「Ⅲ」評価が生じたものについては、本調書内に必ず、コメントを残すこと。

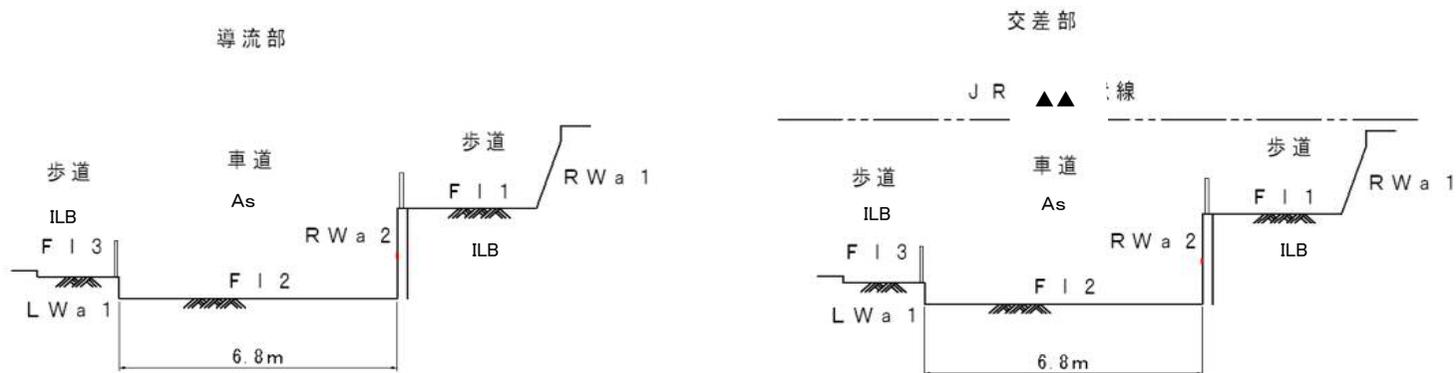
詳細点検調書（その2） 施設状況図・位置記号・部材記号

管理番号	UP-◎◎-●●	工営所	◆◆	路線名	市道 ●●●線			監督職員	●●●●	点検日	平成●●年△月◆日	
施設名称	●●アンダーパス	延長	186.7m	幅員	8.5m	建設年	●●年	交差対象物名称	JR▲▲▲線	所在地	起	◎◎区◆◆町●-▲
委託名	平成●●年度 道路施設点検調査等業務委託			業者名	●●コンサルタンツ(株)			点検者名	△△▲▲		終	◎◎区◆◆町●-▲

【平面図】



【断面図】



詳細点検調書（その3） 現地状況写真

・各施設単位で撮影する
 ・車道部に併設された歩道部があれば、同様に撮影する

管理番号	UP-◎◎-●●	工営所	◆◆	路線名	市道 ●●●線	●●●●	点検日	平成●●年△月◆日			
施設名称	●●アンダーパス	延長	186.7m	幅員	8.5m	建設年	●●年	交差対象物名称	JR▲▲▲線	所在地	起 ◎◎区◆◆町●-▲
委託名	平成●●年度 道路施設点検調査等業務委託	業者名	●●コンサルタンツ(株)	点検者名	△△▲▲	終	◎◎区◆◆町●-▲				

写真番号	1	写真番号	2	写真番号	3
位置記号	導流部A	位置記号	交差部B (JR▲▲▲線)	位置記号	導流部C
写真説明	起点より撮影	写真説明	起点より撮影	写真説明	終点より撮影
メモ		メモ		メモ	



写真番号	4	写真番号	5	写真番号	6
位置記号	導流部A	位置記号	交差部B	位置記号	交差部B
写真説明	起点より撮影	写真説明	起点より撮影	写真説明	起点より撮影
メモ	歩道部	メモ	歩道 JR▲▲▲線交差部	メモ	歩道 JR▲▲▲線交差部



詳細点検調査（その3） 現地状況写真

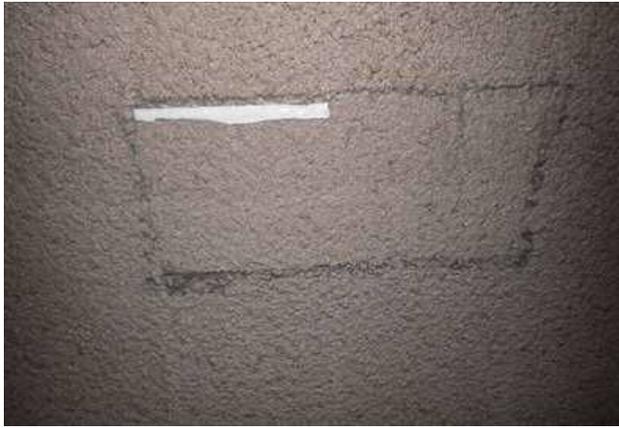
・各施設単位で撮影する
 ・車道部に併設された歩道部があれば、同様に撮影する

管理番号	UP-◎◎-●●	工営所	◆◆	路線名	市道 ●●●線	建設年	●●年	交差対象物名称	JR▲▲▲線	点検日	平成●●年△月◆日
施設名称	●●アンダーパス	延長	186.7m	幅員	8.5m	業者名	●●コンサルタンツ(株)	点検者名	△△▲▲	所在地	起 ◎◎区◆◆町●-▲ 終 ◎◎区◆◆町●-▲

写真番号	7	写真番号	8	写真番号	9
位置記号	導流部C	位置記号	-	位置記号	-
写真説明	起点より撮影	写真説明	安全ミテイング	写真説明	規制状況（片側交互通行）
メモ	歩道部	メモ		メモ	



写真番号	10	写真番号	11	写真番号	12
位置記号	-	位置記号	-	位置記号	-
写真説明	調査状況	写真説明	距離票設置	写真説明	距離票設置
メモ		メモ	距離票貼付け前	メモ	距離票貼付け完了



詳細点検調査（その4） 損傷図（構造物）				・JR交差等があれば、(▲▲線)と記載				・ない場合は「無」を、ある場合は「タイル貼」「塗装」「2重壁」など記載			
管理番号	UP-◎◎-●●	工営所	◆◆	路線名	市道 ●●●線	監督職員	●●●●	点検日	平成●●年△月◆日		
施設名称	●●アンダーパス	延長	186.7m	幅員	8.5m	建設年	●●年	交差対象物名称	JR▲▲▲線	所在地	起 ◎◎区◆◆町●-▲
委託名	平成●●年度 道路施設点検調査等業務委託	業者名	●●コンサルタント(株)			点検者名	△△▲▲		所在地	終 ◎◎区◆◆町●-▲	

位置記号	導流部A	仕上状況	Co(乱列仕上)	特記事項	
部材記号	RWa2(側壁)	160m~起点	構造部材の視認性	不可	

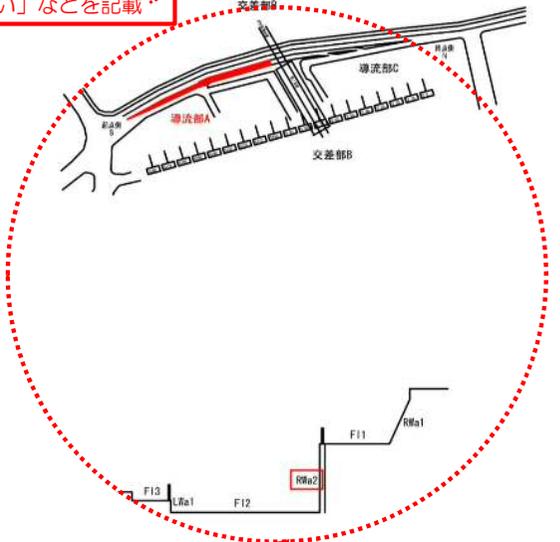
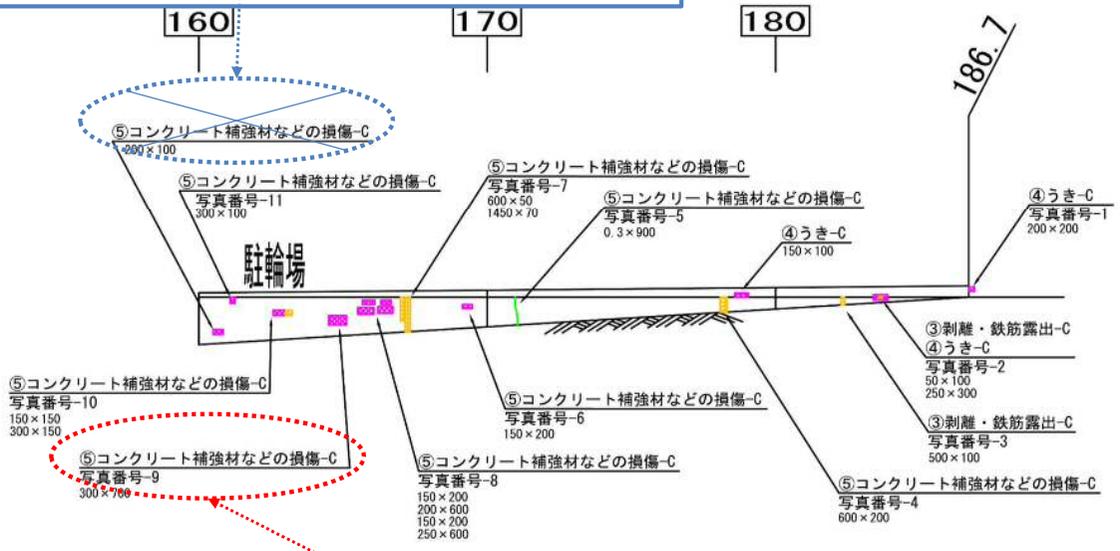
・損傷図に記載する場合は、必ず損傷写真が貼付されていること。
 ・あまりにも細かくなり、煩雑化する場合は、同一損傷で括って、複数の写真番号を貼付するなど工夫すること。

・例)「タイル張替時に状況を確認することが望ましい」などを記載

・部材記号と名称の両方を記載する

損傷図
(コンクリート構造物)

・損傷図には、
 a) 損傷の種類(番号と損傷名)
 b) 損傷判定(a~e)
 c) 規模(幅、長さ、範囲など)
 d) 写真番号(1枚の写真に複数の損傷が撮影されている場合は全ての番号を記入)



・各損傷図にはキープラン図を併記するのが望ましい

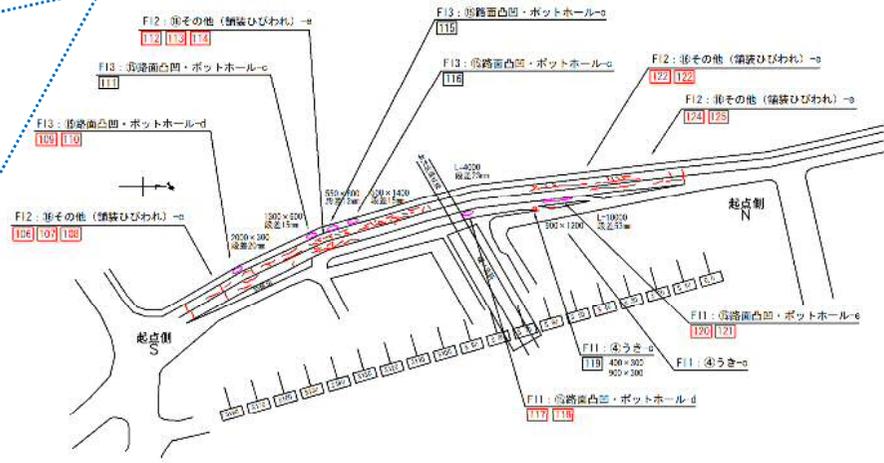
損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
①ひびわれ (~0.2mm未満)		④うき	
①ひびわれ (0.2~0.3mm未満)		①変形・欠損	
①ひびわれ (0.3~0.5mm未満)		②漏水・滲水	
①ひびわれ (0.5mm以上)		④目地の損傷・漏れ	
②漏水・遊離石灰		⑤その他	
③剝離・鉄筋露出			

詳細点検調査 (その5) 損傷図 (路面・排水施設)										・部材記号と名称の両方を記載する		・JR交差等があれば、(▲▲線)と記載	
管理番号	UP-◎◎-●●	工営所	◆◆	路線名	市道 ●●●線	監督職員	●●●●	点検日	平成●●年△月◆日				
施設名称	●●アンダーパス	延長	186.7m	幅員	8.5m	建設年	●●年	交差対象物名称	JR▲▲▲線		所在地	起 ◎◎区◆◆町●-▲	
委託名	平成●●年度 道路施設点検調査等業務委託		業者名	●●コンサルタンツ(株)		点検者名	△△▲▲				終	◎◎区◆◆町●-▲	

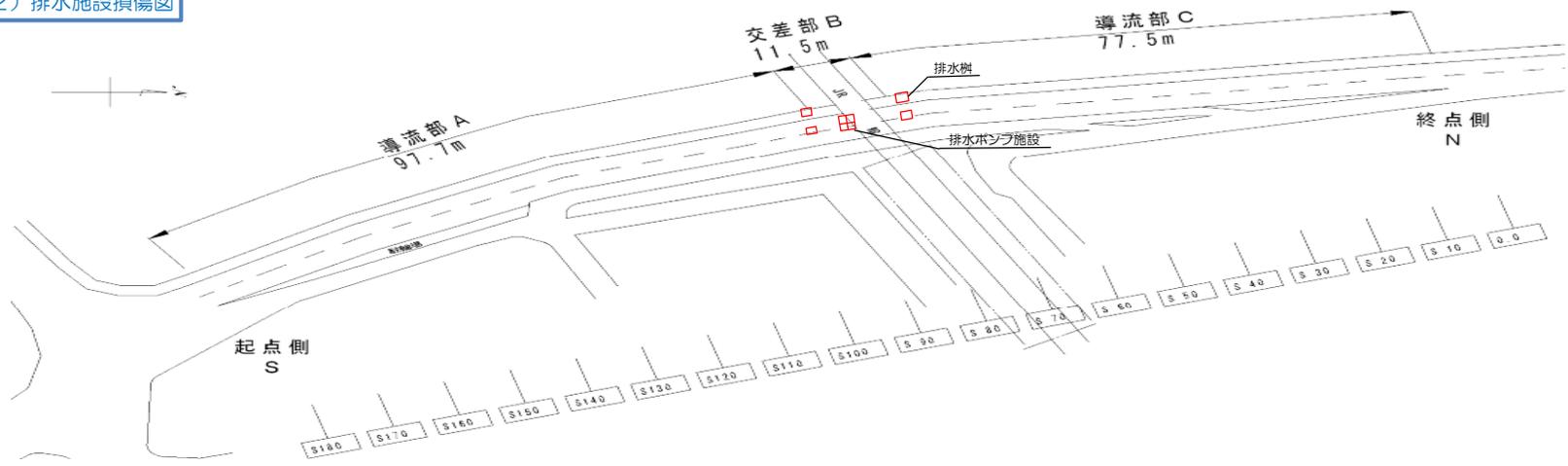
位置記号	起点～終点	舗装種別	車道As・歩道LB	特記事項
部材記号	FL1、FL2、FL3 (床面)	構造部材の視認性	可	

・本調書には、「路面損傷図」と「排水施設損傷図」を分けて記載する

(1) 路面損傷図



(2) 排水施設損傷図



損傷図 (路面・排水施設)

詳細点検調書 (その6) 損傷図 (附属物・上屋施設) 部材記号と名称の両方を記載する。 JR交差等があれば、(▲▲線)と記載										
管理番号	UP-◎◎-●●	工営所	◆◆	路線名	市道 ●●●線	監督職員	●●●●	点検日	平成●●年△月◆日	
施設名称	●●アンダーパス	延長	186.7m	幅員	8.5m	建設年	●●年	交差対象物名称	JR▲▲▲線	所在地
委託名	平成●●年度 道路施設点検調査等業務委託			業者名	●●コンサルタンツ(株)		点検者名	△△▲▲		起
終										
◎◎区◆◆町●-▲										

位置記号	起点～終点	舗装種別	車道As・歩道LB	特記事項
部材記号	FL1・FL2・FL3 (床面)	構造部材の視認性	可	

